



## 否定の連鎖：モンゴル語の否定表現の機能

メタデータ	言語: jpn 出版者: 室蘭認知科学研究会 公開日: 2007-08-31 キーワード (Ja): キーワード (En): negation linkage, verbal noun, negative particle, function, prototype 作成者: 橋本, 邦彦 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10258/236">http://hdl.handle.net/10258/236</a>

## 否定の連鎖 : モンゴル語の否定表現の機能

その他（別言語等） のタイトル	The Negation Linkage : The Functions of Negative Expressions in Mongolian
著者	橋本 邦彦
雑誌名	認知科学研究
巻	5
ページ	49-74
発行年	2007-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10258/236">http://hdl.handle.net/10258/236</a>

## 否定の連鎖 - モンゴル語の否定表現の機能 - \*

橋本 邦彦

# The Negation Linkage – The Functions of Negative Expressions in Mongolian –

Kunihiko HASHIMOTO

要旨 : The purpose of this article is to explicate the fact that four different negative forms in Mongolian constitute one and the same negation linkage. The negative forms are formed by adding the negative particle *-güj* to the following gerundial suffixes: the habitative *-dag<sup>4</sup>*, the non-past *-x*, the imperfective *-aa<sup>4</sup>*, and the perfective *-san<sup>4</sup>*. Firstly, their functions are specified in detail by observing a great number of data. Secondly, it is indicated that they organize a single cline of negation linkage from prototypical to non-prototypical. Lastly, it is explained that the functions which the four negative forms share with one another are acquired in a transitional way through the grammaticalizational processes as specialization, extension, bleaching and dropping.

キーワード : negation linkage, verbal noun, negative particle, function, prototype

### 1. 序論

モンゴル語の動詞の否定形は、動詞語幹に接辞した動名詞語尾に否定辞-*güj* が付加して形成される<sup>1</sup>。

(1) a. *yav-dag-güj*<sup>2,3</sup>

行く -HBT-NEG

b. *yav-a-x-güj*

行く -EP-NPS-NEG

c. *yav-aa-güj*

行く -IMPF-NEG

d. *yav-san-güj*

行く -PF-NEG

(1a)は習慣形動名詞-*dag<sup>4</sup>*に、(1b)は非過去形動名詞-*x*に、(1c)は未完了形動名詞-*aa<sup>4</sup>*に、

(1d)は完了形動名詞-san<sup>4</sup>に、それぞれ否定辞-güj が付加している<sup>4</sup>。

モンゴル語の否定に関して比較的包括的な研究に、Yu(1991)がある。この論文は、モンゴル語の様々な否定要素の形態と使用分布を詳細に記述したものである。モンゴル語の文法形式の分析は、節構造と主語の実現形と再帰所有接尾辞-aa<sup>4</sup>の出現の仕方などのいくつかの統語レベルの現象を除いて、ほぼ語レベルの局所的な結合関係に注目することで説明が可能である。それは、従来の記述文法書の統語論の分量と比較しての形態論の分量の浩瀚さから窺い知ることができる。モンゴル語のような十分に膠着的な言語を扱う場合に、Yu(1991)のたどった路線は妥当なものといえるであろう。

しかしながら、統語論的な枠組みの小さい言語は、意味や機能の面から見ると、実に豊かで興味深い事実を浮かび上がらせてくれる。どの言語にとっても、意味は機能を発揮するための前提であるから、両者は表裏一体の関係にある。たとえば、モンゴル語の否定辞-güj は意味としては「～でない」に収まるけれども、この意味を前提にした文や談話のふるまいという機能としては、実に多様で複雑な様相を呈示するのである。

本研究の目的は、4つの動詞否定形の機能を数多くのデータから指摘する作業を通して、各機能がプロトタイプの、もしくは特有の機能を保持しながら、共有する機能を介して1つの連続体、言い換えると、否定の連鎖(negation linkage)を構成する事実を明らかにするところにある。4つの否定形を結び付ける機能は、プロトタイプの機能から特化、拡張、漂白、消失などの文法化による推移の結果、新たに獲得されたものであることにも触れたい。

第2節では習慣否定形-dag<sup>4</sup>-güj と非過去否定形-x-güj のプロトタイプの機能を観察した後、両者の機能上の重なりについて論じる。第3節では未完了否定形-aa<sup>4</sup>-güj のプロトタイプの機能を確認した後、非過去否定形との機能上の重なりを考察する。第4節では完了否定形-san<sup>4</sup>-güj のプロトタイプの機能を明らかにした後、未完了否定形との共有する機能を見ていく。第5節の結論では、4つの否定形がプロトタイプの機能を保持しながら、色々な推移過程により新たに獲得された機能を分かち合うことで、1つの否定の連鎖を構成する事実を提示したい。

## 2. 習慣否定形-dag<sup>4</sup>-güj と非過去否定形-x-güj

### 2.1. 習慣否定形-dag<sup>4</sup>-güj のプロトタイプの機能

習慣形-dag<sup>4</sup>は習慣的な行為・事態を表す接尾辞であるから、その否定形は習慣的な行為の不履行・事態の欠如を表示する。

(2) a. Eež minj tamxi tat-dag.

母:N 1PRC タバコ:☉ 吸う-HBT

私の母はタバコを吸います。 <attested example>

b. Eež minj tamxi tat-dag-güj.

吸う-HBT-NEG

私の母はタバコを吸いません。 <attested example>

(2a)では喫煙の習慣のあることを述べているのに対し、(2b)ではその習慣のないことが語られている。

習慣は反復的な行為を含意する。その反復性が顕在化する場合がある。

(3) Ulaanbaatar-aas Dornogovj ajmag-ruu šuudangiyn ongots yav-dag-güj.

ウランバートル-ABL ドルノゴビ 県-DRC 定期的な 飛行機:∅ 行く-HBT-NEG

Xarin galt tereg yav-dag yum.

しかし 列車:∅ 行く-HBT ASR

ウランバートルからドルノゴビ県まで定期便は運行していません。しかし、列車は運行しています。 <L: 126>

(3)は飛行機の定期運航の欠如を習慣否定形で、列車の定期運行の存在を習慣形で表している。乗り物の運航/運行は、特定の地点間で繰り返し行われるものである。

-dag<sup>4</sup>は実体に本来備わっている性質や傾向性を示すことができる。

(4) a. Ter xurl-a-vč xün-tej xereld-deg-güj.

彼は 怒る-EP-CNCS 人-CMT 喧嘩する-HBT-NEG

彼は腹を立てても人と喧嘩したりはしません。 <attested example>

b. Ene tsamts bööst-dög-güj.

この ジャケット:∅ 毛玉になる-HBT-NEG

このジャケットは毛玉になりません。 <attested example>

(4a)は主語に喧嘩っ早い性質のないことを述べている。(4b)のジャケットは固有に毛玉になる性質が欠如していることを記している。

以上観察したように、習慣否定形-dag<sup>4</sup>-güj には、習慣的、ないしは反復的行為・事態の不履行・欠如や性質・特性の欠如を示すというプロトタイプの機能が備わっている。

## 2.2. 非過去否定形-x-güj のプロトタイプの機能

動名詞アスペクト接尾辞-x は、動詞の原形を記述する際に用いられ、一般に、単独で文末に立つことはない。通常、現在形接尾辞-na<sup>4</sup> に対応する否定形-x-güj として現れる。現在形には、未来時の行為・事態、瞬間的現在の行為・事態、及び話し手の意志・意図を表示する機能があるので、対応する否定形も当然それらの機能を継承しているはずである。まず、この点から検証してみよう。

- (5) a. Manaj xičeel margaaš exel-ne.  
私たちの 授業:Ø 明日 始まる-PRS  
私たちの授業は明日始まります。 <attested example>
- b. Manaj xičeel margaaš exel-x-güj.  
始まる-NPS-NEG  
私たちの授業は明日始まりません。 <attested example>

(5a)の時の副詞 *margaaš* 「明日」により、授業の開始は未来時に属する事態であることがわかる。その否定形(5b)は、当然、未来時での事態の欠如を表す。

非過去否定形の未来時志向性は、多くの例で観察できる。

- (6) a. Bid margaaš kino üz-e-x-güj.  
私たちは 明日 映画:Ø 見る-EP-NPS-NEG  
私たちは明日映画を見ません。 <attested example>
- b. Dorž odoo yav-a-vč öñöödör ger-t-ee xür-e-x-güj.  
ドルジ:Ø 今 出かける-EP-CNS 今日 家-D/L-RFL 着く-EP-NPS-NEG  
ドルジは今出かけますが、今日中に家には着きません。 <K&Ts: 162>

未来時志向性は、話し手の意志・意図と密接に関係する。なぜなら、話し手の心に浮かんだ行為・事態は現在時においてまだ実現していないからである。

- (7) a. Bi čamajg-aa mart-a-x-güj.  
私は 君を:ACC-RFL 忘れる-EP-NPS-NEG  
私は君のことを忘れてたりしません。 <K&Ts: 11>
- b. Bi öör-öö yav-a-x-güj, čamajg yav-uul-na.  
私は 自分-RFL 行く-EP-NPS-NEG 君を:ACC 行く-CST-PRS  
私は自分では行きません。君を行かせます。 <G&B: 86>

(7a)は発話時での話し手の決意を表明している。(7b)では「行く」行為が「自分で」と「君を」で対比され、その対比が能動態と使役態、否定形と肯定形でコード化されている。これも、話し手の発話時における意図を述べる文である。

非過去否定形が現在形に対応するのだとしたら、現在時の行為・事態の欠如・不履行の表示を期待することができる。ところが、その用法は期待に反してまれであり、たとえあっても、特別な色合いを帯びることになる。

- (8) Sajxan zoogl-ooroj. Ta daxjaad zoogl-o-x-güj yaagaa ve?  
十分に 召し上がる-OPT あなたは もう一度 召し上がる-EP-NPS-NEG なぜ Q  
どうぞ召し上がってください。どうして召し上がらないのですか。 <attested example>

(8)は主人が客人に食事を勧める場面での発話である。-x-güj の入った疑問文は、客人が主人の期待している行為に及んでいないことを含意するが、時間的には発話時に直結した現在時である。

- (9) Baatar ažil-d-aa yav-a-x-güj. Yaagaad ge-vel xanjaad  
バートル:ø 仕事-D/L-RFL 行く-EP-NPS-NEG なぜ 言う-CND 風邪  
xür-sen.  
引く -PF  
バートルは仕事に行きません。なぜなら、風邪を引いてしまったからです。  
<G&B: 156>

(9)の-x-güj を含む文は、発話時での行為の不履行をすでに決定されたものとして描いている。その根拠として、後続の理由文が完了形を取っている。

(8)と(9)から、-x-güj は現在形-na<sup>4</sup> の否定の対応形であるとはいえ、現在時を指す場合には、発話時と直結したものに限られる。

### 2.3. 習慣否定形-dag<sup>4</sup>-güj と非過去否定形-x-güj の機能上の交差

習慣否定形は、プロトタイプ的には習慣的な行為・事態を否定する場合に用いられるが、その役割を非過去否定形が担う例が存在する。

- (10) a. Bid 15 tsag-aas xojš xičeel xij-x-güj.  
私たちは 時-ABL 後 授業:ø する-NPS-NEG  
私たちは 15 時以降授業をしません。 <attested example>  
b. Manaj surguulj-ijn nomiyn san 11 tsag-aas xojš ažill-a-dag-güj.  
私たちの 学校-G 図書館:ø 時-ABL 後 仕事をする-EP-HBT-NEG  
私たちの学校の図書館は 11 時以降開館していません。 <attested example>

(10a)、(10b)とも学校業務の中での定まった規則についての記述であるが、(10a)では非過去否定形が、(10b)では習慣否定形が用いられている。

(11) a. Odoo ted činj žaal dulaar-x-aas naaš bos-o-x-güj  
今 彼らは 2PRC しばらく 暖まる-NPS-ABL しない内は 起きる-EP-NPS-NEG  
dee.

FIN.PRT

今頃は彼らはしばらく暖まらない内は起きないんですよ。<MX: 34>

b. Ter ažl-aa tar-a-vč ger-t-ee xarj-dag-güj.  
彼女は 仕事-RFL 終わる-EP-CNS 家-D/L-RFL 帰る-HBT-NEG  
彼女は仕事が終わっても家に帰りません。<K&Ts: 163>

(11a)、(11b)とも主語の習慣的な行為を示しているが、前者では非過去否定形が、後者では習慣否定形が現れている。

(12) a. Ene xavj-d avtobus zogs-o-x-güj.  
この 付近-D/L バス:ø 止まる-EP-NPS-NEG  
この付近にはバスは止まりません。<HA: 65>

b. Ulaanbaatar-aas Dornogovj ajmag-ruu šuudangiyn ongots  
ウランバートル-ABL ドルノゴビ 県-DRC 定期的な 飛行機:ø  
yav-dag-güj.  
行く-HBT-NEG  
ウランバートルからドルノゴビ県へ向かう定期便は運航していません。<L:126>

(12a)、(12b)ともスケジュール表に則った交通機関の運行・運航方式に言及しているが、各々、非過去否定形と習慣否定形が使われている。

(13) a. Dorž yamar č amttaj baj-san nogoo-toj xool-iyg daanč avč  
ドルジ:ø どんな も おいしい COP-PF 野菜-CMT 食事 ACC まったく  
xelelts-e-x-güj yum.  
興味を示す-EP- NPS-NEG ASR  
ドルジはどんなおいしい野菜料理にもまったく興味を示さないんです。<T: 9>

b. Bi noxojn-oos aj-dag-güj.  
私は 犬-ABL 恐れる-HBT-NEG  
私は犬が怖くありません。<attested example>

(13a)と(13b)は、主語の特定の対象に対する習性を述べる文であるが、非過去否定形と習慣否定形が使い分けられている。

-x-güj が-dag<sup>4</sup>-güj と同様に能力の欠如を表示する場合がある。能力は、本来、ある実態に備わった特性や傾向性であるから、習慣形-dag<sup>4</sup>とは機能上一致する。一方、非過去形



-x-güj はその点で中立であるのだから、機能的に拡張したか、あるいは共起する動詞の意味の影響によるものと推定できる。

(14) a. Mongol xün bajž morj un-a-ž čad-a-x-güj.

モンゴル人:Ø なのに 馬:Ø 乗る-EP-ICC できる-EP-NPS-NEG

モンゴル人なのに馬に乘れません。<T: 34>

b. Tuyaa sajxan xögžimd-dög gevč duul-ž čad-dag-güj.

トヤー:Ø 見事に 楽器を演奏する-HBT けれども 歌う-ICC できる-HBT-NEG

トヤーは見事に楽器を演奏しますが、歌うことはできません。<K&Ts: 163>

(14a)、(14b)とも能力を示す補助動詞 čad-「～できる」で文を閉じている。それを否定する場合に、(14a)では非過去形を、(14b)では習慣形を用いている。

(15) a. Ene tanxim-d 30-aas ilüü xün bagt-a-x-güj.

この ホール-D/L -ABL 以上の 人:Ø 収容する-EP-NPS-NEG

このホールには 30 名以上の人は収容できません。<K&Ts: 293>

b. Bi frants-aar yarj-dag-güj, unš-dag l yum.

私は フランス語-INS 話す-HBT-NEG 読む-HBT だけ ASR

私はフランス語は話しませんが、読むだけです。<MYA: 43>

(15a)は「ホール」の備わった収容人数の限度について語っている。この限度は、言い換えれば、能力である。一方、(15b)は主語に備わった言語能力の限界を述べている。

非過去否定形が習慣形と同一文中で共起し、片や能力の欠如を、片や能力の存在を、対比的に記述する(16)のような例も見つけることができる。

(16) Bi sajn yarj-x-güj č gesen sajn bič-deg.

私は 上手に 話す-NPS-NEG だけれども 上手に 書く-HBT

私はうまく話せませんが、書くのは上手です。<MYA: 46>

### 2.3.2. 習慣否定形が非過去否定形的な機能を発揮する場合

非過去否定形には現在時の行為・事態の状態を否定する働きがある。似た文脈で習慣否定形が用いられる例も散見される。

(17) a. Yörtönts-ijg bütee-sen ezen bidend xar-a-gd-a-x-güj.

世界-ACC 創造する-PF 主人:Ø 私たちに:D/L 見る-EP-PSV-NPS-NEG

世界を創造した主は私たちには見えません。<Bible>

- b. Bi bol tüün šig xar-a-gd-dag-güj.  
私は TOP 彼:OBL のように 見る-EP-PSV-HBT-NEG  
私は彼のようには見えません。<G&B: 153>

(17a)も(17b)も xar-「見る」の受動形を持つ文である。受動構文は対象の見えを状態として描く。

状態は認識動詞の主要な特徴の1つである。

- (18) a. Bi čamajg ald-a-x-ijg xüs-e-x-güj.  
私は 君を:ACC 失う-EP-NPS-ACC 望む-EP-NPS-NEG  
私は君を失いたくありません。<K&Ts: 325>
- b. Bi zam-d-aa aav-taj dajrald-aad čamajg edg-eed  
私は 道-D/L-RFL 父親-CMT 偶然出会う-PCC 君を:ACC 病気から回復する-PCC  
baj-na ge-xed aav maanj ogt ünemš-deg-güj šüü.  
COP-PRS 言う-TM 父親:Ø 1PL.PRC 全く 信用する-HBT-NEG FIN.PRT  
私が途中で偶然父と出会って、おまえがよくなっていると言うと、父は全然信じ  
てくれないんだよ。<ZAM: 116>

(18a)の xüs-「望む」ことも、(18b)の ünemš-「信用する」ことも、現在時における心の状態を示す。

状態が過去のある時点から現在時までの継続を意味する場合がある。

- (19) a. Xural tsuglaa-n geed minij ažil baragd-a-x-güj yum.  
会議:Ø 招集する-ASS という 私の:G 仕事:Ø 終了している-EP-NPS-NEG ASR  
会議を招集するという私の仕事は終わっていないのです。<ÖS: 2000.9.27.>
- b. Zam-iyn mašin-d suu-g-aad Ulaanbaatar-t ir-ž baj-san minj  
道-G 車-D/L 乗る-EP-PCC ウランバートル-D/L 来る-ICC COP-PF 1PRC  
sanaan-aas odoo bol-tol gar-dag-güj yum.  
考え-ABL 今 なる-TML 出る-HBT-NEG ASR  
旅行中の車に乗ってウランバートルに来ていたことは、今になるまで忘れられないのです。<ÖS: 2000.1.25.>

(19a)は過去のある時点から現在時に至るまで未達成の状態が続いていることを示す。  
(19b)は過去のウランバートル滞在時から現在時までの記憶に消すことのできない状態が継続していることを述べている。どちらの文の末尾にある断定終助詞 yum は、発話時の話し手の発話内容に対する主観的な態度を表す。

### 3. 非過去否定形-x-güj と未完了否定形-aa<sup>4</sup>-güj

#### 3.1. 未完了否定形のプロトタイプの機能

-aa<sup>4</sup>は未完了アスペクトを示す動名詞接尾辞で、Poppe(1973: 133)によれば、「過去に始まり、発話時においてもまだ続けている行為」を表す。

(20) a. Minij eež önödör manaj xüüxd-üüd-ijg xar-ž baj-g-aa.  
私の:G 母親:Ø 昨日 私たちの:G 子供-PL-ACC 見る-ICC COP-IMPF  
私の母は今日私たちの子供たちの世話をしています。 <attested example>

b. Eež minj xödöö suu-g-aa.  
母親:Ø 1PRC 田舎:Ø 住む-EP-IMPF  
私の母は田舎で暮らしています。 <K&Ts: 145>

(20a)、(20b)ともに発話の時点で、行為なり事態なりが継続中であることを表示している。

未完了形が疑問文で用いられると、発話の時点での結果状態の存在を含意する。

(21) A: <<Xarangaa>> xamtlag Gernan-d toglolt xij-ž baj-g-aa  
ハランガ グループ:Ø ドイツ-D/L 演奏:Ø する-ICC COP-EP-IMPF  
ge-sen. Ta üz-sen üü?  
言う-PF あなたは 見る-PF Q  
『ハランガ』というグループがドイツで演奏しているということでした。あなたはご覧になりましたか。

B: Xüüxd xar-a-x xün baj-g-aa-güj učir toglolt-iyg nj  
子供:Ø 世話する-EP-NPS 人:Ø いる-EP-IMPF-NEG ので 演奏-ACC 3PRC  
üz-e-ž čad-aa-güj.  
見る-EP-ICC できる-IMPF-NEG  
子供を世話してくれる人がいないので、彼らの演奏を見ることはできません。  
<ÖS: 1999.12.10.>

(21A)は完了形 üz-sen「見た」で尋ねている。(21B)の応答は、肯定形であれば完了形 üz-sen となるはずであるが、否定形は未完了形 čad-aa-güj を取り、可能性の欠如が発話時点においても継続していることを示す。

未完了否定形の発話時に至るまでの行為の不履行・事態の欠如の継続は、この形を含む多くの例で観察することができる。

(22) a. Xüüxd-üüd angj-d-aa šuugj-aad baj-na. Xičeel nj exl-ee-güj  
子供-PL 教室-D/L-RFL 騒ぐ-PCC COP-PRS 授業:Ø 3PRC 始まる-IMPF-NEG  
bololtoj.

~でしょう

子供たちが教室で騒いでいます。授業が始まっていないのでしょうか。

<attested example>

b. Bi Xjatat oron-d oč-i-ž üz-ee-güj.  
私は 中国 国-D/L 行く-EP-ICC 見る-IMPF-NEG

私は中国に行ってみたことはありません。<attested example>

c. Bid Mongol-d ir-sn-ees-ee xojš tüuntej uulz-aa-güj.

私たちは モンゴル-D/L 来る-PF-ABL-RFL 後で 彼と:CMT 会う-IMPF-NEG

私たちはモンゴルに来てから彼と会っていません。<K&Ts: 314>

(22a)は話者の推測を述べる文に未完了否定形が置かれている。この推測の根拠は、先行文で「子供が教室で騒いでいる」事実から「教師が来ていない」、それゆえ「授業がまだ始まっていない」という推論が成立していったものと考えられる。(22b)は、補助動詞üz-「してみる」に未完了否定形が付加している。この補助動詞は行為の経験を示すのだから、その否定は「まだ行ったことがない」という行為の不履行を意味する。(22c)は、「モンゴルに来た」という指定された過去時から発話時に至るまでずっと「彼と会う」事態が存在しないことを語っている。

副詞が未完了否定形と共に起することで、発話時に至るまでの行為の不履行・事態の欠如の継続を明示する場合もある。

(23) a. Bid aravdugaar xičeel-ee bas l üz-ee-güj baj-na.

私たちは 第10の 課-RFL まだ~ 見る-IMPF-NEG COP-PRS

私たちは第10課をまだ勉強していません。<attested example>

b. Yav-a-x tsag araj bol-oo-güj baj-na.

出かける-EP-NPS 時間:Ø まだ~ なる-IMPF-NEG COP-PRS

出かける時間にはまだなっていません。<T: 22>

(23a)、(23b)ともに、それぞれ、未完了否定形と呼応する否定極性副詞、bas l、araj が用いられている。これは、(24)の英語の have not~yet に見るような発話時における行為や事態の未完了性を際立たせる働きをする。

(24) a. It's eleven o'clock and you haven't finished it yet.

b. I wrote the letter, but I haven't mailed it yet.

以上の観察から、未完了否定形-aa<sup>4</sup>-güjのプロトタイプの機能は、過去時のある時点から発話時に至るまでの継続的な行為の不履行、もしくは事態の欠如を表示することである。

### 3.2. 未完了否定形と非過去否定形の機能上の交差

未完了否定形-aa<sup>4</sup>-güjと非過去否定形-x-güjが機能の上で重なり合うように見える事例がある。

- (25) a. Mön amjdral deer udm-iyn garal-taj ge-deg nj xar-a-gd-a-ž  
同じ 生命:Ø に 種-G 起源-CMT 言う-HBT 3PRC 見る-EP-PSV-EP-ICC  
baj-xad üünijg šinžlex uxaaniy üüdnees sudal-ž  
COP-TM これを:ACC 科学的な の観点から 研究する-ICC  
batl-aa-güj baj-na.  
証明する-IMPF-NEG COP-PRS  
同じ生命に種の起源を持つと見なされている場合、これを科学的な観点から研究し証明してはいません。<ZM: 2001. 9.28.>
- b. Ter maanj xödlöngüüt dalaj-n övčün tus-č ilaarš-i-x-güj  
彼は 1PL.PRC 動いている 海-G 病気の に罹る-ICC 回復する-EP-NPS-NEG  
baj-na.  
COP-PRS  
彼は船酔いにかかって、回復していません。<ÖS: 2000.1.19.>

(25a)では発話時点で種の起源に関する科学的な研究と証明がいまだなされていない状態であることを記している。同様に、(25b)では、発話時点で船酔いからの回復がいまだ実現していない状況であることを述べている。同じ否定的な未完了状態を表し、しかも形態上も現在形補助動詞 baj-na を従えているにもかかわらず、(25a)では未完了否定形が、(25b)では非過去否定形が現れている。

- (26) a. Ter tuxaj nadad med-e-gd-ee-güj.  
それ について 私に:D/L 知る-EP-PSV-IMPF-NEG  
それについて私は知らされていません。<G&B: 146>
- b. A: Ta tend alj xer udaa-n suu-x ve?  
あなたは そこに どれだけ 滞在する-ASS いる-NPS Q  
あなたはそこにどのくらい滞在するのですか。
- B: Sajn med-e-x-güj.  
よく 知る-EP-NPS-NEG  
よくわかりません。<S&B: 103>

(26a)は現在時での与位格形「私」の「それについて」の知識の欠如を表している。(26b)

は現在時から未来時へ向けての滞在日数に関する問いに対して、B の現在時での知識の欠如を示す。否定形の意味解釈はおおよそ同じであるが、(26a)では未完了否定形が、(26b)では非過去否定形が使われている。

(27) a. Bi nom unš-i-ž baj-na.

私は 本:Ø 読む-EP-ICC COP-PRS

私は本を読んでいます。 <attested example>

b. Bi nom unš-aa-güj baj-na.

私は 本:Ø 読む-IMPF-NEG COP-PRS

私は本を読んでいます。 <attested example>

モンゴル語の現在進行形は動詞語幹に未完了副動詞接尾辞-ž/-č が付加し、その後現在形補助動詞 baj-na が続く形をとる。したがって、(27a)は発話時に本を読む行為が遂行されているとの解釈を得る。対応する否定形は、(27b)のように、未完了否定形と baj-na の組み合わせとなる。

ところが、(27a)の否定形として、(28)を立てることも可能である。

(28) Bi nom unš-i-x-güj baj-na.

私は 本:Ø 読む-EP-NPS-NEG COP-PRS

私は本を読んでいます。 <attested example>

(28)では、未完了否定形の代わりに非過去否定形が現れている。では、(27b)のような未完了型と(28)のような非過去型の現在進行否定形の間には何らかの意味の違いがあるのだろうか。

岡田(1989: 39)は、-aa<sup>4</sup>-güj baj-na が「発話時点で或る動作が行われない/起こらないでいる価値判断を含まない単純な事実」としての状態の否定であるのに対し、-x-güj baj-na は「発話時点で或る動作が行われる/起こるべき時間になっているのに、それが行われない/起こらないでいる期待はずれの価値判断を含んだ」状態否定を表すと説明している。このことは、(29a)と(29b)の否定疑問文から支持できるように思われる。

(29) a. Dorž surguulj-d-aa yav-aa-güj baj-na uu?

ドルジ:Ø 学校-D/L-RFL 行く-IMPF-NEG COP-PRS Q

[単純な事実として]ドルジはまだ学校に行かないでいるのですか。

b. Dorž surguulj-d-aa yav-a-x-güj baj-na uu?

ドルジ:Ø 学校-D/L-RFL 行く-EP-NPS-NEG COP-PRS Q

[本来行くべき時間なのに]ドルジは学校に行かないでいるのですか。

<a, b とも岡田 1989:39>

しかしながら、この説明には少なくとも3つの反例がある。第1の反例として、「価値判断を含まない単純な事実」を表すはずの未完了否定形に「期待はずれ」という価値判断の含意される場合がある。

- (30) Ter yaagaad ödij xürtel gerl-ee-güj baj-na ve?  
彼女はなぜこんな多いまで結婚する-IMPF-NEG COP-PRS Q  
彼女はなぜこんな年齢になるまで結婚しないのですか。 <attested example>

(30)は「結婚しない」理由を尋ねていると同時に、「こんな年齢になるまで」という表現により、話し手側に当然結婚していてよいという価値判断があると考えられる。

第2の反例は、非過去否定形であっても「価値判断を含まない単純な事実」を表す例が存在することである。

- (31) Ter xün end-ees xol baj-na, nadad üz-e-gd-e-x-güj  
その人:Ø ここ-ABL 遠い COP-PRS 私に:D/L 見る-EP-PSV-EP-NPS-NEG  
baj-na.  
COP-PRS  
その人はここから遠いところにいます。私は会えません。 <attested example>

(31)は「その人」と話し手との空間的距離の隔たりに言及した後で、それを理由として、会うことのできない現状を単純に述べている。

第3の反例として、-aa<sup>4</sup>-güj baj-na と -x-güj baj-na が同一談話内で等しい用いられ方をしている場合である。

- (32) A: Xonog-t döčin tavan dollar.  
一晚-D/L 40+ 5+ ドル  
一泊 45 ドルです。  
B: Xeterxij üne-tej baj-na. Öröö tseverl-ee-güj baj-na.  
高すぎる 値段-CMT COP-PRS 部屋:Ø 掃除する-IMPF-NEG COP-PRS  
Gerel aźill-a-x-güj baj-na.  
明り:Ø 稼動する-EP-NPS-NEG COP-NEG  
高すぎます。部屋は掃除していません。電灯は点いていません。 <S&B: 136>

(32A)は、ホテルのフロント係の宿泊代についてのせりふである。それに対して(32B)の客は、2つの理由を挙げて異議申し立てをしている。その中で、部屋の掃除の状態については未完了否定形を、電灯の状態に関しては非過去否定形を用いている。

以上3つの反例から、岡田(1989: 39)の説明するような区別は認め難い。

未完了否定形と非過去否定形の機能上の交差は、逆接接続詞を持つ文でも観察される。

- (33) a. Bi xool id-ee-güj bolovč öls-öö-güj.  
私は 食事:Ø 食べる-IMPF-NEG だけれども 空腹である-IMPF-NEG  
私は食事をしていませんが、腹は減っていません。 <attested example>
- b. Bid ene geree-nij tölbör-ijn nöxtsl-ijg zövšöör-č baj-na.  
私たちは この 契約-G 支払い-G 条件-ACC 同意する-ICC COP-PRS  
Gevč xugatsaa-g zövšöör-ö-x-güj baj-na.  
けれども 期限-ACC 同意する-EP-NPS-NEG COP-PRS  
私たちはこの契約の支払い条件には同意しています。けれども、期限には同意して  
おりません。 <K&Ts: 302>

(33a)は発話時での空腹という生理現象の欠如を記述している。(33b)は契約条項の期限についての話し手側の発話時における同意という認識状態の欠如を述べている。どちらも、現在時での状態を表すのであるが、(33a)では未完了否定形が、(33b)では非過去否定形が用いられている。

(25)~(33)から、未完了否定形と非過去否定形は、機能上、交差する場合のある事実が確認できた。

### 3.3. 未完了否定形-aa<sup>4</sup>-güj と非過去否定形-x-güj の機能上の違い

未完了否定形と非過去否定形の機能の違いは、両形が同一談話内に現れる場合に観察できる。

- (34) Bi ene nom-iyn tuxaj tand yuu č xel-ž čad-a-x-güj.  
私は この 本-G について あなたに:D/L 何:Ø も 言う-ICC できる-EP-NPS-NEG  
Učir nj bi tüünijg unš-aa-güj.  
理由:Ø 3PRC 私は それを:ACC 読む-IMPF-NEG  
私はこの本についてあなたに何も話せません。その理由は、私はそれをまだ読んで  
いないからです。 <attested example>

第1文の xel-ž čad-a-x-güj 「話せない」は現在時での可能性の欠如を語っている。可能性の欠如は比較的安定した状態といえる。一方、第2文の unš-aa-güj 「まだ読んでいない」は、現在時での行為の未完了性を述べている。この未完了性が完了性に転じた時初めて、可能性の欠如が可能状態に変わるのである。つまり、前者は後者の前提を構成することになる。



(35) A: Ta naadm-iyg üz-ee-güj biz dee?

あなたは ナーダム-ACC 見る-IMPF-NEG でしょう ね

あなたはナーダムをまだご覧になっていないんでしょうね。

B: Ügüj, yaa-ž üz-e-x ve?

NEG どうする-ICC 見る-EP-NPS Q

はい (見ていません)。どうしたら見られるのですか。<S&B: 182>

(35A)はナーダムの観覧がまだ遂行されていないことを確認する質問である。(35B)は行為の未完了性を認める応答をし、その後で観覧の方法を尋ねている。これは発話時点でまだ遂行していない未来時志向の行為であるので、非過去形-x を用いている。(35A)の-aa<sup>4</sup>-güjの使用は、岡田(1989: 39)の「価値判断を含まない単純な事実を表す」という説明への反証例である。むしろ、発話時点で行為の遂行が期待されるにもかかわらず、何らかの事情で遂行されていない意味合いを帯びている。

岡田(1989: 39)が-x-güjにあるとした期待はずれの否定の意味は、(36)の-aa<sup>4</sup>-güjの用法にもはっきりと見られる。

(36) Tanij angj-ijn-xan šal-aa ugaa-ž, tsonx-oo arč-i-ž baj-na. Gevč

あなたの クラス-G-GRP 床-RFL 洗う-ICC 窓-RFL 拭く-ICC COP-PRS けれども  
tseverxen bol-oo-güj baj-na.

きれいな なる-IMPF-NEG COP-PRS

あなたのクラスの生徒たちは床を洗い窓を拭いています。けれども、きれいになっていません。<attested example>

(36)の第1文は現在進行中の行為を表している。「床を洗う」、「窓を拭く」行為は、当然「きれいになる」事態を生じさせるはずであるが、その期待に反し、発話時点において、いまだそれが未達成状態であることを未完了否定形は示している。

モンゴル語には、非過去動名詞形接尾辞-xに言述動詞 ge-「言う」の未完了接続副動詞形 ge-ž、その後に baj-na を置いて、英語の be about to do のような、稼動状態の未来形を表す連語がある。これに対応する否定形を作るには、ge-ž を未完了否定形 ge-ee-güj に変換する。

(37) a. Bi arxi uu-x ge-ž baj-na.

わたしは 酒:☐ 飲む-NPS 言う-ICC COP-PRS

私は酒を飲もうとしています。<attested example>

b. Bi arxi uu-x ge-ee-güj baj-na.

言う-IMPF-NEG

私は酒を飲もうとしていません。<attested example>

稼動状態の未来形は、すでにある行為を遂行する態勢に入っている事実を表示する。(37a)は発話時点ですでに「酒を飲む」態勢に入っている、たとえば、コップに酒を注いで、それを手に握っている状態を描いている。一方、(37b)はそのような状態が欠如していること、当面は飲まないでいることを表明している。

#### 4. 未完了否定形-aa<sup>4</sup>-güj と完了否定形-san<sup>4</sup>-güj

##### 4.1. 完了否定形のプロトタイプの機能

完了否定形-san<sup>4</sup>-güj は、過去時における継続的、もしくは経験的行為・事態の不履行・欠如を表す。

(38) a. Teregč Luvsan 50 garuj nasl-a-xd-aa tijm tom šuvuu  
車引き ロブサン:ø 余り 齢をとる-EP-TM-RFL このように 大きい 鳥:ø  
üz-sen-güj.

見る-PF-NEG

車引きのロブサンは50歳余りになるまで、このように大きな鳥をみたことがありませんでした。<L: 171>

b. A: Ta usan ongots-oor yav-ž üz-sen üü?

あなたは 水の 船-INS 行く-ICC 見る-PF Q

あなたは船で行って見たことがありましたか。

B: Ügüj, yav-ž üz-sen-güj.

NEG 行く-ICC 見る-PF-NEG

いいえ、行って見たことはありませんでした。<attested example>

(38a)は過去のある時点から「50歳余りになる」時点までの期間の継続的な事態の欠如を述べている。(38bA)は聞き手に船旅についての経験の有無を尋ねているのに対し、(38bB)ではそのような経験が過去において欠如していることを語っている。

完了形接尾辞-san<sup>4</sup> は口語表現では過去時制として機能することが多いので(Poppe 1970: 133)、対応する否定形も過去時の行為・事態を否定する。

(39) a Ter öčigdör ir-sen-güj.

彼は 昨日 来る-PF-NEG

彼は昨日来ませんでした。<attested example>

b. Öčigdör tenger muuxaj baj-san učir ongots nis-sen-güj.

昨日 天候:ø 悪い COP-PF ので 飛行機:ø 飛ぶ-PF-NEG

昨日天候が悪かったので、飛行機は飛びませんでした。<attested example>

c. A: Činij najz öčigdör ir-sen üü?

君の友人:ø 昨日 来る-PF Q

君の友人は昨日来ましたか。

B: Ügüj, ir-sen-güj.

NEG 来る-PF-NEG

いいえ、来ませんでした。 <attested example>

(39a)は単文で「昨日」のように過去時が指定されている。(39b)は複文であるが、理由節も結果節も「昨日」の領域に入るので、完了形接尾辞は肯定形、否定形共に過去時を表す。(39cA)は「昨日」の行為について問うているので、当然、(39cB)の否定的な応答も過去時への言及である。

Poppe(1970: 131)では、過去表示機能を持つ動詞接尾辞-v、-laa<sup>4</sup>、-žee/-čee の否定形はすべて-san<sup>4</sup>-güj であると指摘している。これは一種の中和現象と呼べるもので、次の例から確認できる。

(40) a. Bi temee tavi-v.

私は 駱駝:ø 解き放つ-PST

私は駱駝を解き放ちました。

b. Bi temee tavi-san-güj.

解き放つ-PF-NEG

私は駱駝を解き放ちませんでした。 <Poppe 1951: 206>

(41) a. Xüüx-üüd maanj gerl-ee untraa-san-güj unt-čix-žee.

子供-PL 1PLPRC 明り-RFL 消す-PF-NEG 寝る-CMP-PPST

子供たちは明りを消さずに寝てしまいました。 <attested example>

b. Ted ix öls-čee. Tend guanz baj-san-güj.

彼らは とても 空腹である-PPST そこに 食堂:ø COP-PF-NEG

彼らはとても空腹でした。そこには食堂はありませんでした。 <attested example>

(42) a. Bi erg-e-ž xar-san-güj, zövšön ter xoyor-iyñ alxaa-g sons-o-ž

私は 回る-EP-ICC 見る-PF-NEG ただ その 二人-G 足音-ACC 聞く-EP-ICC  
yav-laa.

行く-RPST

私は振り返って見ないで、ただ二人の足音を聞いていました。 <attested example>

b. Bi ger-t-ee xari-maar baj-laa. Bagš zövšöör-sön-güj.

私は 家-D/L-RFL 帰る-DSR COP-RPST 教師:ø 賛成する-PF-NEG

私は自宅へ帰りたかった。先生は同意しませんでした。 <attested example>

(40a)は単純過去形接尾辞-v を含む文である。これに対応する否定形は、(40b)のように

-san-güj 形をとる。(41a)では-san-güj が副詞的に使われているが、時制全体は完了過去形 -žee の領域内にある。(41b)のように同一談話内に共起する際も、肯定形-čee、否定形 -san-güj の違いだけで、時制はどちらも完了過去形である。(42a)も-san-güj が副詞的に機能しているが、文全体の時制は近過去形-laa の枠内に収まっている。同一談話を構成する(42b)でも、肯定形か否定形かの相違だけで、-sön-güj は-laa の示す時制を担っている。

以上の考察から、-san<sup>4</sup>-güj は完了否定形の他に過去否定形として機能することが検証された。

#### 4.2. 完了否定形と未完了否定形の機能上の重なり

Street(1963: 193)は、過去時制の否定形として、完了否定形-san<sup>4</sup>-güj と未完了否定形-aa<sup>4</sup>-güj を挙げ、共に同じ機能を発揮すると主張している。

(43) A: Bagš yav-a-v uu?

教師:∅ 出かける-EP-PST Q

先生は出かけましたか。

B1: Yav-san-güj.

出かける-PF-NEG

出かけませんでした。

B2: Yav-aa-güj.

出かける-IMPF-NEG

出かけませんでした。<Street 1963: 193>

確かに、完了否定形も、未完了否定形も、同じ過去時の領域で共存する例が散見される。

(44) Manaj aav ir-ee-güj učraas bid nar yav-ž

私たちの:G 父親:∅ 来る-IMPF-NEG ので 私たちは PL 行く-ICC

čad-san-güj.

できる-PF-NEG

私たちの父が来なかったので、私たちは行くことができませんでした。<K&Ts: 397>

(44)は同一複文中で、理由節に未完了否定形、結果節に完了否定形が現れているが、文全体は過去時の出来事を描写している。

(45) a. Bi öčigdör nomiyn san-d oč-oo-güj. Dorž bas oč-son-güj.

私は 昨日 図書館-D/L 行く-IMPF-NEG ドルジ:∅ もまた 行く-PF-NEG

私は昨日図書館に行きませんでした。ドルジもまた行きませんでした。

<attested example>

b. Ted zočid buudal-d oč-oo-güj yum. Tijm učraas  
彼らは ホテル-D/L 行く-IMPf-NEG ASR このような 理由で  
tölöölögčid-tej dajrald-san-güj.

代表団-CMT 鉢合わせになる-PF-NEG

彼らはホテルに行かなかったのです。このようなわけで、代表団とは鉢合わせになりませんでした。<attested example>

(45a)は「昨日」により特定の過去時が指定された上、「～もまた」により、第1文と第2文が同じ行為の欠如を表しているとして解釈される。(45b)の第1文は理由を、第2文は結果を表すが、因果関係は全体で1つの出来事連鎖を形成する。

過去時の行為・事態の否定という機能上の重なりは、本来未完了を表示するはずの-aa<sup>4</sup>-güjが完了否定形として用いられることを明示する次の例で確認できる。

(46) a. Ter nadad ene tuxaj yarj-aa-güj bolovč bi med-sen.

彼は 私に:D/L これ について 話す-IMPf-NEG だけれども 私は 知る-PF

彼は私にこれについて話していませんでしたが私は知っていました。<K&Ts: 163>

b. A: Nisdeg tereg delber-sen üü?

飛行機:ø 爆発する-PF Q

飛行機は爆発しましたか。

B: Ügüj, delber-ee-güj.

NEG 爆発する-IMPf-NEG

いいえ、爆発しませんでした。<ÖS: 2001.1.18.>

(46a)は逆接接続詞 bolovč「～だけれども」を含む複文であるが、前半節に未完了否定形が、後半節に完了形が用いられている。(46bA)は完了形で飛行機の爆発の有無について尋ねているが、それに対する応答(46bB)は完了否定形の delber-sen-güjではなく、未完了否定形 delber-ee-güjで答えている。

上記の事実から、完了否定形と未完了否定形は共に過去時の行為・事態の否定という機能上の重なりを見せていることがわかる。では、両者は、この点で完全に一致しているのだろうか。

#### 4.3. 完了否定形と未完了否定形の機能上の相違

完了否定形-san<sup>4</sup>-güjと未完了否定形-aa<sup>4</sup>-güjの機能上の違いが鮮明になるのは、各々がプロトタイプの機能、すなわち、完了性と未完了性を発揮するコンテキストにおいてである。たとえば、(46a)、(46b)とまったく同じタイプのコンテキストであっても、完了肯定形-san<sup>4</sup>と未完了否定形-aa<sup>4</sup>-güjの機能上の対比は明らかである。

(47) a. Tegexed Čimed bagš ijm targan baj-g-aa-güj  
その頃 チメド:Ø 先生:Ø このように 太った COP-EP-IMPF-NEG  
turanxaj baj-san yum.  
やせた COP-PF ASR  
その頃、チメド先生はこんな風に太ってはいなくて、やせていました。  
<ÖS: 2001.3.6.>

b. A: Či eež-d-ee zaxjaa bič-sen üü?  
君は 母親-D/L-RFL 手紙:Ø 書く -PF Q  
君はお母様に手紙を書きましたか。

B: Bič-ee-güj. Ee-ž minj odoo ix sanaa zov-ž baj-g-aa.  
書く -IMPF-NEG 母親:Ø 1PRC 今 大変 心:Ø 悩まず -ICC COP-EP-IMPF  
書いていません。私の母は今大変心配しています。 <G&B: 75>

(47a)では、「チメド先生」の体形について未完了否定形が現在の状態を、他方、完了形が過去の状態を、「太った」と「やせた」という語により対比的に描いている。(46bA)では、「手紙を書く」行為が完了したかどうかを問うているのに対し、(47bB)では、それが現在時において未完了であると答えている。この現在時との関連性は、(47bB)の第2文が、行為の未完了性の結果により引き起こされた事柄「母親の心配」を述べていることから確認できる。

完了性の意味合いが濃い場合には、-san<sup>4</sup>-güjの独壇場となる。

(48) Namajg teatr-t oč-i-xod billet duus-čix-san baj-laa.  
私を:ACC 劇場-D/L 行く -EP-TM チケット:Ø 売り切れる -CMP-PF COP-PST  
Tegeed bi žüžig üz-e-ž čad-san-güj/\*čad-aa-güj.  
それで 私は 劇:Ø 見る -EP-ICC できる -PF-NEG/できる -IMPF-NEG  
私が劇場に行った時には、チケットは売り切れてしまっていました。それで、私は劇を見ることができませんでした。 <attested example>

第1文は過去完了形-san<sup>4</sup> baj-laaを持つ文である。この文が描く事態は、第2文の過去時に先行する過去時に生じている。このような文脈では、第2文に完了否定形は用いられるが、未完了否定形は使うことができない。

(49) Bi, ter üye-d ter učr-iyg yaagaad bod-o-ž ol-son-güj/  
私は その 時期-D/L その 事情-ACC なぜ 考える -EP-ICC 理解する -PF-NEG  
\*ol-oo-güj bilee?  
-IMPF-NEG COP:PST  
私は、あの頃、その事情をなぜ考えて理解しなかったのかなあ。 <Bittigau 2003: 125>

(49)は過去時においてすでに完了している事態について反省していることを表す文である。このような文脈では、完了否定形は適切であるが、未完了否定形は不適切と判断される。

第 3.2 節の未完了否定形と非過去否定形の機能上の交差について論じた際に、岡田 (1989: 39)の指摘するような「価値判断」の有無についての確証は得られないことを示す証拠を提示した。この価値判断は、岡田によれば、-x-güj baj-na には「～する/なるべきなのに～して/なっていない」という期待はずれの含意が存在するのに対し、-aa<sup>4</sup>-güj には「(まだ)～してない/なっていない；～する/なる時間になっていない」というそのような含意のない単純な事実を表す。

ところが、未完了否定形-aa<sup>4</sup>-güj の過去時の行為・事態の用法を観察していくと、岡田の予想に反して、この否定用法には期待はずれの含意があることに気づくのである。

(50) a. Uučl-aaraj, bi ünendee teg-ji gež teg-ee-güj.

赦す-OPT 私は 実際には そうする-VLNT QUT そうする-IMPF-NEG  
ごめんなさい。私は心ならずもそうしました。<MYA: 82>

b. Ter ir-e-x xeregtej baj-san, xarin ir-ee-güj.

彼は 来る-EP-NPS ねばならない COP-PF けれども 来る-IMPF-NEG  
彼は来なければなりませんでしたが、来ませんでした。<G&B: 94>

c. Ug nj duučin bol-yoo gež bod-oo-güj yum. Öör šig  
実のところ 歌手:ø なる-VLNT QUT 思う-IMPF-NEG ASR 他の人:ø のように  
činj survalžlagč baj-laa.

2PRC 記者:ø COP-PST

実のところ、歌手になろうとは思っていませんでした。他の人と同じように、記者になりたかったんですよ。<ÖS: 2001.1.11.>

(50a)、(50b)、(50c)はすべて過去時の出来事に言及しているが、未完了否定形で否定された行為・事態は本来実現することが期待されていたものである。その事實は、(50a)の ünendee teg-ji 「実際には～しよう」、(50b)の xeregtej baj-san, xarin 「～しなければならなかったが、しかし」、(50c)の Ug nj 「実のところ」+第2文がはっきりと示している。他方、完了否定形-san<sup>4</sup>-güj には、そのような用法は見当たらない。

## 5. 結論

4つの動名詞否定形のプロトタイプの機能をまとめると、次のようになる。

(51) 習慣否定形-dag<sup>4</sup>-güj の機能：

- a. 習慣的な行為の不履行/事態の欠如
- b. 反復的な行為の不履行/事態の欠如

c. 固有の性質/傾向性

(52) 非過去否定形-x-güj の機能 :

- a. 未来時の行為の不履行/事態の欠如
- b. 発話時と直結した行為の不履行/事態の欠如

(53) 未完了否定形-aa<sup>4</sup>-güj の機能 :

- a. 発話時に至るまでの行為の不履行/事態の欠如
- b. a + [期待はずれ]の含意
- c. 稼動状態の未来時の行為の不履行/事態の欠如

(54) 完了否定形-san<sup>4</sup>-güj の機能 :

- a. 過去時の継続的/経験的行為の不履行/事態の欠如
- b. 過去時の行為の不履行/事態の欠如

(51)の習慣形は、時間軸上の比較的安定した行為・事態を表すので、無時間的、すなわち、過去時や未来時から自由であり、常に現在時志向である。(52)の非過去形は、発話時を基点として常に時間のベクトルを右方向へ向ける未来時志向である。(53)の未完了形は、過去時のある時点から発話時までと、それを少しはみ出した形で未来時へと向かうが、すべて発話時を含む現在時と関連している。(54)の完了形は、過去時を基点とした現在時志向を示す。

次に各否定形が機能を共有する部分をまとめてみよう。

(55) 習慣否定形-dag<sup>4</sup>-güj と非過去否定形-x-güj の重なり合う機能 :

- a. 習慣的な行為の不履行/事態の欠如 : 特に、規則やスケジュールに則ったもの
- b. 習性
- c. 能力の欠如

(55)の3つの機能を習慣形の方から捉え直すと、(51)の3つの機能が、一般的なタイプからより特殊なタイプへと特化していったと考えることができる。一方、非過去形から見ると、発話時と未来時の時間的志向性が漂白されて無時間的性質へと移行した結果である。

(56) 習慣否定形-dag<sup>4</sup>-güj と非過去否定形-x-güj の機能上の推移による収束化 :

特化

-dag<sup>4</sup>-güj: (51a)/(51b)/(51c) ⇒ (55a)/(55b)/(55c)

↙

-x-güj : (52a)/(52b) 時間性の漂白





するに至った非プロトタイプの機能から成り立っている。プロトタイプの機能、それを基点とした派生的な非プロトタイプの機能の獲得、そして、それらの機能同士の収束化を通して、4つの否定形を1つの否定の連鎖として捉えることができるわけである。

## 謝辞

\* 本論文を完成させるにあたって、査読者より貴重なご指摘をいただいた。この場を借りて、感謝申し上げたい。また、インディアナ大学でモンゴル語の否定の研究への興味をかき立てて下さった Yu, Wonsoo 氏にも謝意を表したい。あれから 17 年を経てようやく研究にとりかかることができた。なお、論文中の誤り・不適切な点などはすべて筆者が責任を負うものである。

## 注

1 否定辞-gūj は名詞・形容詞・副詞として振舞う ügüj 「ないこと、欠如；存在しない、欠けている；いいえ」の語頭母音の落ちた形と考えられる。

i. a. ügüj yum

存在しないもの

b. A: Ta bidentej yav-a-x uu?

あなたは 私たちと:CMT 行く-EP-NPS Q

あなたは私たちと行きますか。

B: Ügüj.

いいえ。

-gūj は形態的に弱化している点で接辞的であるが、モンゴル語の音韻規則の母音調和に従わない点では、接語的である。

ii. a. yav-dag-gūj

a'. \*yav-dag-guj

b. ir-deg-gūj

iii. a. aav maanj

a'. eež maanj

b. \*eež meenj

ii a, b の習慣形接尾辞-dag~-deg~-dog~-dög は語幹母音に応じて交替するが、iia'に見るように、否定辞を\*-guj~-gūj のように交替させることはできない。これとは反対に、iiia, b の 1 人称複数形後接語 maanj には iiib'に見るように、交替形\*meenj は存在しない。

2 現代モンゴル語は通常キリル文字表記であるが、本稿では便宜上ラテン文字表記に翻字してある。注意すべき対応は次の通りである。

ж: ž, ч: č, ц: ts, ш: š, ы: iy, ий: ij, ь: j

3 グロスの省略記号の対応は、次の通りである。

ABL: Ablative, ACC: Accusative, ASR: Assertive, ASS: Associative, CMT: Comitative, CND: Conditional, CNS: Concessive, COP: Copula, CST: Causative, D/L: Dative/Locative, DRC: Directional, DSR: Desirative, EP:

Epenthetic Vowel/Consonant, FIN.PRT: Final Particle, G: Genitive, GRP: Group, HBT: Habitative, ICC: Imperfective Coordinative, IMPF: Imperfective, INS: Instrumental, NEG: Negative, OBL: Oblique, OPT: Optative, PCC: Perfective Coordinative, PF: Perfective, PL: Plural, PPST: Perfective Past, PRS: Present, PST: Past, PSV: Passive, Q: Question, QUT: Quotation Marker, RFL: Reflexive/Possessive, RPST: Recent Past, TM: Temporal, TMC: Terminative, TOP: Topic Marker, VLNT: Voluntative, ∅: Zero Case, 1PRC: First Singular Person Proclitic, 2PRC: Second Singular Proclitic, 3PRC: Third Singular Proclitic, 1PL.PRC: First Plural Person Proclitic

- 4 接尾辞の右肩の数字は、母音調和(vowel harmony)に現れる交替形の数を表す : -dag<sup>4</sup> <-dag; -deg; -dog; -dög>, -aa<sup>4</sup> <-aa; -ee; -oo; -öö>, -san<sup>4</sup> <-san; -sen; -son; -sön>。

#### 出典

Bible: 聖書モンゴル語訳, G & B: Gaunt, J. and L. Bayarmandakh (2004), HA: Hangin, J.G. (1997), K & Ts: Kullmann, R. and D. Tserenpil (1996), L: Luvsanzhav, Ch. (1976), MX: Byambasan, Ts. (1979), MYA: Araj, Š., et al. (1990), ÖS: Ödrijn Sonin <新聞・電子版>, S & B: Sanders, A.J.K. and J. Bat-Ireedüi (1999), T: 田中 (2005), ZAM: オイドブ著・小澤訳 (1996), ZM: Zuuniy Medee<新聞・電子版>。

#### 参考文献

- Araj, Š., Choj Luvsanzhav, S. Dolgor, and D. Narantsetseg (1990) *Mongol-Yapon Yarjaaniy Devter*. Ulaanbaatar: Ulsiyn Xeblelijn Gazar.
- Gaunt, John and L. Bayarmandakh (2004) *Modern Mongolian: A Course-Book*. London and New York: Routledge Curzon.
- Bittigau, Karl Rudolf. (2003) *Mongolische Grammatik: Entwurf einer Funktionalen Grammatik (FG) des Modernen, Literarischen Chalchamongolischen*. Wiesbaden: Harrassowitz Verlag.
- Bjambasan, P. (ed.) (1979) *Mongol Xel: 5 Angi*. Ulaanbaatar: Ardyn Bolovcroliyn Yaamniy Xevlel.
- Hangin, John G. (1997) *Intermediate Mongolian (A Textbook for Modern Mongolian)*. [Reprinted] Richmond: Curzon Press Ltd.
- Kullmann, Rita, and D. Tserenpil. (1996) *Mongolian Grammar*. Hong Kong: Jenco Ltd.
- Luvsanzhav, Choj. (ed.) (1976) *Mongol Xel Bičig*. Ulaanbaatar: Sajd Nariyn Zövlölijn Ulsiyn Deed, Tusgaj Dund, Texnik Mergežlijn Bolovcroliyn Xevlel.
- オイドブ著・小澤重男訳. (1966) 『蒙和对訳 道 (みち)』 東京: 大学書林.
- 岡田和行編訳. (1989) 『モンゴル語教科書 (外国人向け)』 東京: 東京外国語大学語学教育研究協議会.
- Poppe, Nikolaus. (1951) *Khalkha-Mongolische Grammatik*. Wiesbaden: Franz Steiner Verlag GMBH.
- (1970) *Mongolian Language Handbook*. Washington D.C.: The Center for Applied Linguistics.
- Sanders, Alan J. K., and Jantsangiin Bat-Ireedüi. (1999) *Colloquial Mongolian: The Complete Course for Beginners*. London and New York: Routledge.
- Street, John C. (1963) *Khalkha Structure*. Bloomington: Indiana University.
- 田中セツ子. (2005) 『現代モンゴル語口語辞典』 東京: 大学書林.

否定の連鎖  
-モンゴル語の否定表現の機能-

橋本邦彦

Yu, Wonsoo. (1991) *A Study of Mongolian Negation*. Ann Arbor: U-M-I Dissertation Information Service.

執筆者紹介

所属：室蘭工業大学共通講座

Email：kuni3587@mmm.muroran-it.ac.jp

専門分野：意味論、機能論、モンゴル語学